



佐藤アナウンサー（手前）と発声の練習をする児童—吉野川市の種野小学校

児童、ラジオCM挑戦

吉野川市 四放アナが指導
種野小

吉野川市の種野小学校の全校児童37人が7日、四国放送のアナウンサーらの指導で、地域の魅力や観光資源をPRするラジオCMの制作を始めた。

3年の尾崎由貴さん（9）は「ホテルやウメなど美郷の良いところをCMでたくさん伝えたい」と話した。

佐藤旬子アナウンサーら同社の4人が同校を訪れ、ラジオのCMや番組の制作についての出前授業を実施。児童は発声方法を学んだ後、CMに盛り込む美郷地区の長所などについて話し合った。

21日にある次回の出前授業で収録を行い、1分程度に編集。3月ごろから半年間、四国放送ラジオで実際に流される。

CM制作は、日本民間放送連盟の民放ラジオ統一キャンペーンの一環。

などについて話し合った。

（岸和弘）